

## 救急搬送において受入に至らなかった理由について①

○ 救急搬送において受入に至らなかった理由\*1として、以下の項目が挙げられている。

表1. 受入に至らなかった理由ごとの件数（医療機関の区分によらず集計したもの）

1	2	3	4	5	6	7
処置困難	ベッド満床	手術中・患者対応中	専門外	医師不在	初診(かかりつけ医なし)	理由不明及びその他
22.9%	22.2%	21.0%	10.4%	3.5%	0.2%	19.7%

表2. 第三次救急医療機関に限ったもの\*2

2	3	1
ベッド満床	手術中・患者対応中	処置困難
37.8%	34.5%	12.7%

表3. 第二次救急医療機関以下に限ったもの\*2

1	3	2
処置困難	手術中・患者対応中	ベッド満床
39.0%	16.2%	15.6%

※ いずれも、消防隊員が、医療機関に依頼したものの受入に至らなかった事案において、医療機関との電話でのやりとりの中で聞き取った内容を、消防側の判断で、上記1～7に割り振り集計したもの

\*1 救急搬送における医療機関の受入状況等実態調査（総務省消防庁 平成20年3月11日）  
平成19年中に行われた救急搬送のうち、重症以上傷病者搬送人員530,671人から転院搬送を除いた119,046人について調査した結果  
\*2 実態調査のうち集計可能な宮城県、埼玉県、東京都、静岡県、愛知県、広島県、福岡県における数値

## 救急搬送において受入に至らなかった理由について②

表1. 受入に至らなかった理由ごとの件数（医療機関の区分によらず集計したもの）

	1	2	3	4	5	6	7
項目	処置困難	ベッド満床	手術中・患者対応中	専門外	医師不在	初診(かかりつけ医なし)	理由不明及びその他
割合	22.9%	22.2%	21.0%	10.4%	3.5%	0.2%	19.7%

調査時の定義	手術中、患者対応中：手術中（手術の準備中を含む）、重症対応などにより手が離せない場合。	（ベッド満床）	傷病者の症状に対処する設備、資器材がない場合、手術スタッフ不足、人手不足、傷病者の症状から手に負えない場合。	傷病者の症状から専門処置が必要であるが専門医が不在である場合。標榜科目以外の医師が当直にあたり対応できない場合を含む。	医師が不在である場合。傷病者の症状に適合する専門医が不在の場合は専門外に記入すること。	（かかりつけ医なし）	（原因不明、その他）
考えられる原因	○救急部門における医師が少ない。	○物理的なベッドの満床 ○患者の状態に見合った病床が足りない等	○施設の体制が不十分。	○診療範囲が限られている。 ○専門医指向	○朝夕の医師の交代時の問題？	○未受診妊婦	
考えられる対策	○「処置困難」の示す、より具体的な内容の把握が必要。 一 より詳細な調査が必要（総務省消防庁の協力） ○設備、資器材、検査体制の確保 一 一定の基準の策定と評価で対策	次ページ	○救急医療機関における医師数等の体制の増強 一 三次救急医療機関 一 新しい救命救急センターの評価 一 救急センターの体制をより重点的に評価 一 二次救急医療機関 一 一定の基準の策定と評価で対策	○幅広い診療に対応できる救急医の育成と配置 ○専門医指向の弊害についての啓発		○未受診妊婦への対応	○より詳細な原因の把握が必要

## 「ベッド満床」について ①

- 総務省消防庁調査によると、救急搬送において受入に至らなかった理由\*1として、「ベッド満床」はおよそ24%、第三次救急医療機関に限るとおよそ38%を占める。
- ところで、厚生労働省の調査によると、救命救急センターの年間の平均病床稼働率は71%、救命救急センターの属する病院全体の同じく病床稼働率は84%である。
- これは、
  - ・ 救命救急センターで、平均9.2床 (全国のセンターの平均病床数31.6床から算定)
  - ・ センターの属する病院全体で、平均109床 (センターの属する病院全体の平均病床数679床から算定)
 の空床を持つことを意味し、総体として物理的にベッドが足りない状況とは必ずしも言えない。

4

## 「ベッド満床」について ②

### 救急医療機関の病床利用率

- 第二次・第三次救急医療機関の病床利用率

(平成17年医療施設静態調査と平成18年病院報告による)

## 第二次救急医療機関

全国平均 81.8%
(10県平均 78.8%)

## 第三次救急医療機関

全国平均 80.6%
(10県平均 80.8%)

- 救命救急センターとセンターが属する病院全体の病床利用率

(平成20年度 救命救急センター現況調べによる(43都道府県分))

## 救命救急センター

全国平均 71.3%
(10県平均 78.9%)

## センターが属する病院全体

全国平均 83.7%
(10県平均 81.3%)

5